

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 09 01	中期総合計画主要施策番号		1-03	担当課	部・課	建設部 建築指導課	
事業名		アスベスト飛散防止対策事業					内線	3632	
							E-mail	kenchiku@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	アスベストの飛散による健康被害を防止するため、多数の者が利用する大規模(概ね500㎡以上)な民間施設について、アスベストの早期除去を行う。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]							
		多数の者が利用する民間施設について、アスベスト除去を早期に行う必要がある。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]							
		民間建築物の改修事業であるため、改修費用等の金銭的な負担もあり、計画的及び迅速な事業実施が困難となっている。							
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]							
		市町村との連携を十分するとともに、補助事業の実施により、必要性の周知及び除去費用の軽減を図る。							
	事業内容	露出して吹付けアスベストが施工されている民間建築物の共用部分の除去に対する経費の補助 補助限度額 800万円、補助率:【国】1/2、【県】1/4、【市町村】1/4							
	実施期間	H18 ~	根拠法令等	アスベスト飛散防止対策事業補助金交付要綱 長野県住生活基本計画					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	大規模民間施設のアスベスト早期除去に補助し、アスベストの飛散による健康被害を防止する。 (長野県住生活基本計画 平成27年度までに大規模民間施設のアスベスト除去率を50%に引上げる。 H22年度末25%目途)		目標に向けて、市町村と連携しアスベスト除去を着実に進める。			5施設に補助し、アスベスト除去を行った。また、補助事業以外のアスベスト除去(施設除去を含む)が、7施設で実施された。計12施設で除去工事が行われ、アスベストの除去率を20.9%まで進めた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	10,775	7,911	9,994	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	10,640	5,216		実施方法	補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	10,640	5,216	9,994	歳出節別内訳等	補助金:5,216 (単位:千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.05	0.05	0.05			
	概算人件費 (C)		千円	357	357	357			
概算事業費 (B(H20はA)+C)		千円	10,997	8,268	10,351				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	左記以外の20年度の実績		
	吹付けアスベスト除去建物(累計)		施設	19 (48)	12 (60)	8 (68)			
	吹付けアスベスト除去済件数/対象施設		%	16.7	20.9	23.7			
	対象施設数287施設(H21.3.31現在、アスベスト含有未分析施設48施設含む)								
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・国の対象アスベスト品目再確認(トレモラト等)により、対象施設が増える事が想定される。 ・アスベストの早期除去が行われるよう県と市町村とが共同で補助している。 ・多数の県民・住民が利用する大規模建築物についてアスベストの早期除去を行っていく。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・公共施設(市町村有)については除去が進んでいるが、民間施設の除去が課題である。 ・民間施設について早期に除去が行えるよう補助を事業を活用し、市町村と連携し対象施設の所有者等に対し引き続き事業内容を周知する必要がある。						